

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511529(P2000-511529A)

【公表日】平成12年9月5日(2000.9.5)

【出願番号】特願平9-542424

【国際特許分類第7版】

C 07C 233/80

A 61P 25/00

A 61P 25/18

A 61P 25/28

A 61K 31/167

A 61K 31/18

A 61K 31/403

A 61K 31/4245

A 61K 31/4152

A 61K 31/4166

A 61K 31/42

A 61K 31/427

A 61K 31/435

A 61K 31/4439

A 61K 31/502

C 07C 235/84

C 07C 237/48

C 07C 275/40

C 07C 311/15

C 07D 209/72

C 07D 221/04

C 07D 233/84

C 07D 237/26

C 07D 261/14

C 07D 401/06

C 07D 403/06

C 07D 409/06

C 07D 409/12

C 07D 413/06

C 07D 417/06

// C 07C 255/57

【F I】

C 07C 233/80

A 61K 31/00 625C

A 61K 31/00 626G

A 61K 31/00 626N

A 61K 31/165 602

A 61K 31/18

A 61K 31/40 605

A 61K 31/41 603

A 61K 31/415 602

A 61K 31/415 607

A 6 1 K 31/42
A 6 1 K 31/425 6 0 2
A 6 1 K 31/435
A 6 1 K 31/44 6 1 3
A 6 1 K 31/50 6 0 2
C 0 7 C 235/84
C 0 7 C 237/48
C 0 7 C 275/40
C 0 7 C 311/15
C 0 7 D 209/72
C 0 7 D 221/04
C 0 7 D 233/84
C 0 7 D 237/26
C 0 7 D 261/14
C 0 7 D 401/06
C 0 7 D 403/06
C 0 7 D 409/06
C 0 7 D 409/12
C 0 7 D 413/06
C 0 7 D 417/06
C 0 7 C 255/57

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月21日(2004.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 4月21日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成09年特許願第542424号

2. 補正をする者

氏名（名称） ファルマシア・アンド・アップジョン・カンパニー

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葵


4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

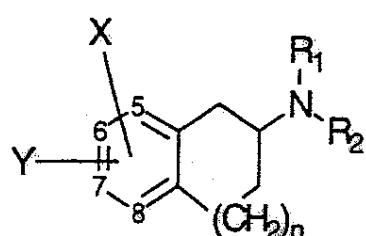
6. 補正の内容
別紙のとおり。



(別紙)

請求の範囲

1. 構造式 I :



[式中、XおよびYは、5、6または7の位に存在し、ここに、

i) nが1である場合、Xは $(CH_2)_mCONR_4R_5$ 、 $(CH_2)_mSO_2R_3$ 、 $(CH_2)_mSO_2NR_4R_5$ 、 $(CH_2)_mNR_4CONHR_5$ 、 $(CH_2)_mNHSO_2R_3$ 、 $(CH_2)_mNHCOOR_3$ またはC(O)R₄（ここにmは0または1であるが、但しmが0である場合、Yは水素またはハロゲンではない）であって；
YはR₄、 $(CH_2)_pCONR_4R_5$ 、 $(CH_2)_pCN$ 、 $(CH_2)_pSO_2NR_4R_5$ 、 OR_6 、 $(CH_2)_pSO_2R_3$ 、 $(CH_2)_pNHSO_2R_3$ 、ハロゲン、または $(CH_2)_pNHCOOR_3$ （ここにpは0または1）であり；

ii) nが0または1である場合、XおよびYは互いにに対してオルト一位で存在し、互いに結合して：

- a) $-C(O)NR_{10}C(O)-$ 、
- b) $-C(O)NR_4(CH_2)_xNR_{10}C(O)-$ （ここにxは0または1）、
- c) $-CH_2NR_{10}C(O)-$ 、
- d) $-(CH_2)_2NR_{10}C(O)-$ 、
- e) $-CH_2C(O)NR_{10}-$ 、
- f) $-N(R_3)-C(O)-N(R_3)-$ 、
- g) $-N(R_3)-C(O)-O-$ 、
- h) $-N=C(R_7)-N(R_3)-$ 、または

j) $-\text{CH}_2\text{N}(\text{R}_8)\text{CH}_2-$ となり；あるいは

i i i) nが0であってYがOR₉である場合、Xは(CH₂)_mCONR₄R₅、(CH₂)_mSO₂NR₄R₅、(CH₂)_mNR₄CONHR₅、(CH₂)_mSO₂R₃、(CH₂)_mNHSO₂R₃、(CH₂)_mNHCOR₃またはC(O)R₄(ここにmは0または1)であり；

R₁およびR₂は独立して、H、C₁—C₈アルキルまたはC₁—C₈アルキルアリールであり；

R₃はC₁—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリールまたはアリールであり；

R₄およびR₅は独立して、H、C₁—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリールまたはアリールであり；

R₆はH、C₁—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリール、アリールSO₂CF₃、SO₂C₁—C₈アルキル、SO₂—C₁—C₆アルキルアリールまたはSO₂アリールであり；

R₇は水素、CON(R₄)₂、SO₂N(R₄)₂またはSO₂R₄であり；

R₈はC₁—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリール、アリール、CON(R₄)₂、COR₄、SO₂N(R₄)₂またはSO₂R₄（但し、各々の場合において、R₄は水素ではない）であり；

R₉は（所望により1～3個のハロゲンで置換されていてもよい）C₂—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリールまたはアリールであって；

R₁₀はH、C₁—C₈アルキル、C₁—C₆アルキルアリール、アリールまたは(CH₂)₀₋₆SO₂アリールである]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

2. nが1である請求項1記載の化合物。

3. R₁およびR₂が独立して、HまたはC₁₋₆アルキルである請求項1記載の化合物。

4. R₁およびR₂が共にプロピルである請求項3記載の化合物。

5. Yが水素である請求項1記載の化合物。

6. Xが(CH₂)_mNHSO₂R₃である請求項1記載の化合物。

7. R_3 が、所望により CN 、 Cl 、 NO_2 またはメチルで置換されていてもよいフェニルである請求項 6 記載の化合物。

8. n が 0 であって、X および Y が結合して

- a) $-C(O)NR_{10}C(O)-$ 、
- b) $-C(O)NR_4(CH_2)_xNR_{10}C(O)-$ (ここに x は 0 または 1)、
- c) $-CH_2NR_{10}C(O)-$ 、または
- j) $-CH_2N(R_8)CH_2-$

となる請求項 1 記載の化合物。

9. X および Y が結合して、 $-C(O)NR_{10}C(O)-$ [ここに、 R_{10} は水素、 CH_2 アリールまたは(所望により、 F 、 Cl 、 OCH_3 、 OCF_3 、 CF_3 、 CO_2 、 CH_3 または CN で置換されていてもよい) C_1-C_3 アルキルフェニル] となる請求項 8 記載の化合物。

10. 該アリールがベンゾトリアゾール、チオフェニルまたはフェニルである請求項 9 記載の化合物。

11. X および Y が結合して、 $-C(O)NR_4(CH_2)_xNR_{10}C(O)-$ (ここに x は 0 であり、 R_4 は水素であって、 R_{10} は水素) となる請求項 8 記載の化合物。

12. X および Y が結合して、 $-CH_2NR_{10}C(O)-$ [ここに R_{10} は水素または(所望により F 、 Cl 、 OCH_3 、 OCF_3 、 CF_3 または CN で置換されていてもよい) CH_2 フェニル] となる請求項 8 記載の化合物。

13. X および Y が結合して、 $-CH_2N(R_8)CH_2-$ [ここに R_8 は SO_2 ベンゾオキサジアゾール、 SO_2 オキサゾリル、 SO_2 チオフェニルまたは SO_2 フェニル(これらの全ては、所望により 1 または 2 個の Cl 、 CH_3 または CN で置換されていてもよい)] となる請求項 8 記載の化合物。

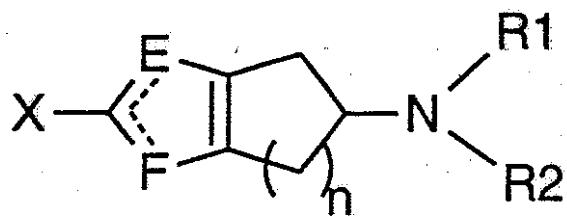
14. n が 0 であり、Y が OR_9 [ここに R_9 は(所望により 1 ~ 3 個のハロゲンで置換されていてもよい) C_2-C_8 アルキル] であって；

X が $(CH_2)_mCONR_4R_5$ (ここに R_4 および R_5 は独立して、H、メチルまたはエチル) である請求項 1 記載の化合物。

15. 2-(ジプロピルアミノ)-6-エトキシ-2,3-ジヒドロ-1H-イン

デン-5-カルボキサミドである請求項14記載の化合物。

16. 構造式III:



[式中、EまたはFのうちの1個はNであって、もう1個はSであり；

nは1または2であり；

R₁およびR₂は独立して、H、C₁-C₈アルキルまたはC₁-C₈アルキルアリールであり；

Xは(CH₂)_mCONR₄R₅、(CH₂)_mCN、(CH₂)_mSO₂NR₄R₅、(CH₂)_mNR₄CONHR₅、(CH₂)_mSO₂R₃、(CH₂)_mNHSO₂R₃、(CH₂)NHCOR₃またはC(O)R₄(ここにmは0または1)であり；

R₃はC₁-C₈アルキル、C₁-C₆アルキルアリールまたはアリールであり；

R₄およびR₅は独立して、H、C₁-C₈アルキル、C₁-C₆アルキルアリールまたはアリールである]

で示される化合物およびその医薬上許容される塩。

17. 該「F」の位がNであって、該「E」の位がSである請求項16記載の化合物。

18. R₁およびR₂が独立して、水素またはC₁-C₈アルキルである請求項16記載の化合物。

19. Xが(CH₂)_mNR₄CONHR₅である請求項16記載の化合物。

20. mが1であり、R₄が水素であって、R₅がアリールである請求項19記載の化合物。

21. アリールが(所望により、塩素原子で置換されていてもよい)フェニルである請求項20記載の化合物。